

RemoteView for iOS User Guide

RemoteView ユーザーガイド (iOS向け)

Version 4.4.0

2018.4

お知らせ

RemoteView for iOS User Guide

Copyright © 2001~2018 RSUPPORT Co., Ltd. All Rights Reserved

本マニュアルに記載されている事柄は、製品の性能向上または機能改善などにより、将来予告なしに変更する場合があります。

RSUPPORT CO., Ltd.は、本マニュアルで説明した特殊用途以外に、市場性及び適合性などに対してどのような保証もいたしません。

RSUPPORT CO., Ltd.は、本マニュアルに含まれた誤り、またはこの資料の供給や遂行または使用と関連して直接、間接、偶然、または必然的に発生した損害に対して、どのような責任も負いかねますのでご了承ください。

本マニュアルに対する著作権と知的所有権はRSUPPORT CO., Ltd.が所有し、この権利は国内の著作権法と国際著作権条約によって保護されています。したがってRSUPPORT CO., Ltd.の事前書面同意なしに、本マニュアルの一部、あるいは全体の内容を無断にコピー、複製、転載することは著作権法に抵触します。

iPhone、iPad、iPod TouchなどはApple Inc.の登録商標であり、著作権の保護を受けています。その他、本マニュアルに記載された他社所有の登録商標及び著作権、保護を受けている用語は、単に引用のためだけに使用されています。

本マニュアルのマークについて



利用上の注意事項です。
必ず指示に従ってください。



利用上の参考になる内容が
記載されています。

目次

1. 本マニュアルについて.....	1
2. RemoteView紹介.....	1
2.1 RemoteView とは?	1
2.2 RemoteView for iOS とは?	1
2.3 iOS 端末使用環境.....	2
2.4 RemoteView for iOS ご利用の流れ	3
3. アプリケーションインストールと削除.....	4
3.1 アプリケーションをインストールする	4
3.2 アプリケーションを削除する	5
4. 遠隔地PCを遠隔制御する.....	6
4.1 アプリケーションにログインする	6
4.1.1 アプリケーション画面説明.....	7
4.2 遠隔地 PC に接続する	8
4.3 遠隔地 PC を制御する.....	9
4.3.1 ツールバーメニュー.....	9
4.3.2 QuickMenu	10
4.3.3 マウス制御モードを切り替える  Mode	11
4.3.4 キーボードを使用して文字を入力する  KeyBoard	13
4.3.5 画面制御の設定をする  Screen	15
4.3.6 ウィンドウを制御する  Window	16
4.3.7 各種制御ツールを使用する  Tools	17
4.3.8 ショートカットキーを使用する  Shortcut	18
4.3.9 遠隔制御に関する設定を行う  Setting	19
4.4 遠隔制御を終了する  Disconnect	20
5. 遠隔地PCをコマンドで制御する.....	21
5.1 vPro 機能を使って電源管理する	23

6. その他	25
6.1 2段階認証 (OTP) を使用する.....	25
6.2 アプリケーションを管理する	26
6.2.1 端末から言語を変更する.....	28
6.2.2 プロキシを設定する.....	28

1. 本マニュアルについて

本マニュアルでは、遠隔地PCを制御するために使用するRemoteViewのiOSアプリケーションを説明します。

2. RemoteView紹介

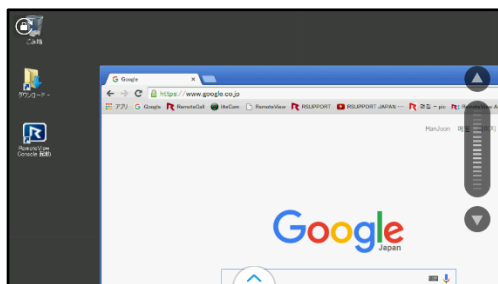
2.1 RemoteViewとは？

RemoteViewは、遠隔地PCに「Agent」プログラムをインストールすることで、インターネットを利用していつでも、どこでもPCやモバイル端末から遠隔地PCに接続して、簡単かつ安全にリアルタイムで遠隔操作できるサービスです。（Agentプログラムインストールについては、別冊のStandard/Enterpriseマニュアルを参照）

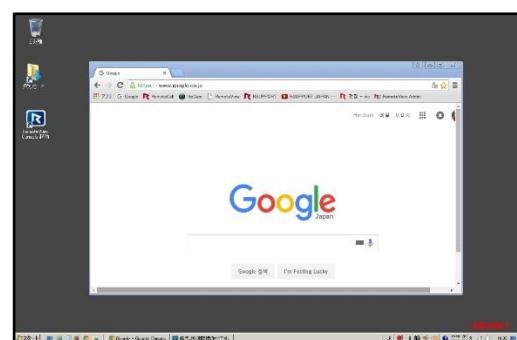
2.2 RemoteView for iOSとは？

iOS端末から遠隔地PCを制御するために必要なiOSアプリケーションです。アプリケーションをダウンロード後、インストールすることでお使いのモバイル端末からサービスをご利用いただけます。

（アプリケーションインストールについては、「[3.1.アプリケーションをインストールする](#)」を参照）



モバイル端末画面



PC画面画像

2.3 iOS端末使用環境

iOS端末のご利用推奨環境は以下のとおりです。

なお、最新の動作環境については弊社ホームページよりご確認ください。

OS	iOS8.0 ~ 11.3.x
保存容量	30MB 以上
ネットワーク	3G 以上、Wi-Fi対応



- ・ iPhoneとiPod TouchやiPadは、全ての設定、遠隔操作などが同様に動作します。
- ・ iPod Touchは3G/LTEに対応していないため、Wi-Fiを利用したワイヤレスインターネットをご利用できない場合は、RemoteViewをご利用できません。
(遠隔地PCの使用環境については、別冊のStandard/Enterpriseマニュアルを参照)



最新の動作環境及び制限事項は

ホームページ(<https://content.rview.com/ja/support/operating-environment/>)
をご確認ください。

2.4 RemoteView for iOSご利用の流れ

① App Storeから「RemoteView」と検索し、アプリケーションをダウンロード・インストールします。

② アプリケーションを実行後、ログインします。

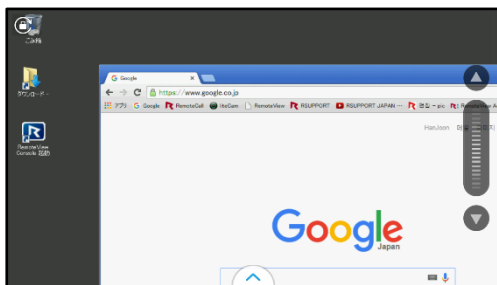
- 会社ID : Enterpriseユーザーのみ入力
- 管理者の設定により、2段階認証が必要な場合があります。
(詳細は「[6.1 2段階認証 \(OTP\) を使用する](#)」を参照)



③ ログイン後、遠隔地PCやグループリストが表示されます。

遠隔制御したい遠隔地PCを直接制御したり、コマンドによる制御を行います。

(直接制御に関する詳細は「[4.2 遠隔地PCに接続する](#)」、コマンドによる制御に関する詳細は「[5. 遠隔地PCをコマンドで制御する](#)」を参照)



直接制御



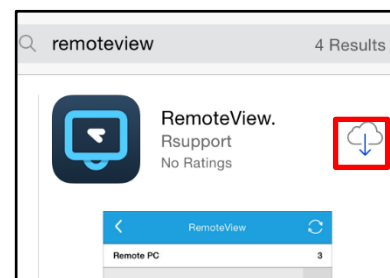
コマンドによる制御

3. アプリケーションインストールと削除

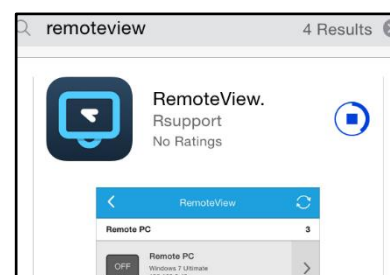
3.1 アプリケーションをインストールする

- モバイル端末からインストールする場合

④ App Storeから「RemoteView」と検索し  アイコンをタップします。



⑤ RemoteViewアプリケーションをダウンロード・インストールします。



⑥ インストールが完了すると画面上にアイコンが生成されます。



- iTunes からインストールする場合

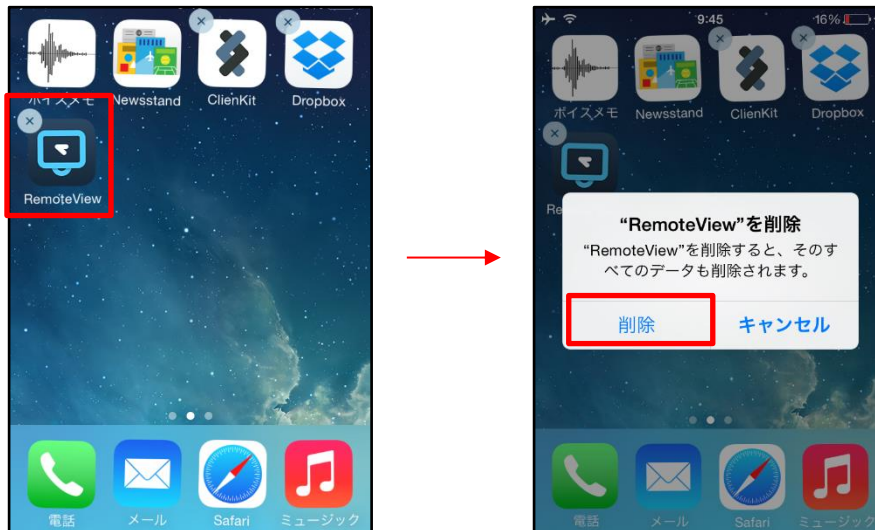
PC/MacにてiTunesを利用してApp Storeに接続し、「RemoteView」というキーワードで検索後、ダウンロードします。ダウンロード後、モバイル端末と同期化し、RemoteViewをインストールします。

3.2 アプリケーションを削除する

- モバイル端末から削除する場合

ホーム画面でRemoteViewアイコンを2秒ほど長押しすると、アイコンが揺れます。

「X」ボタンをタップ後、「削除」をタップするとRemoteViewアプリが削除されます。



- iTunes から削除する場合

iTunes > アプリケーションでRemoteViewを削除します。

(PC上の保存された場所にファイルを残すか選択することができます。)

削除後、モバイル端末と同期化を行い、RemoteViewを削除します。

4. 遠隔地PCを遠隔制御する

4.1 アプリケーションにログインする

⑦ アプリケーションリストからRemoteViewを実行します。

⑧ ログインアカウントを入力し、ログインします。

「ユーザー情報保存」をチェックすると、入力したアカウント情報を保存することができます。

- 会社ID : Enterpriseユーザーのみ入力
- 管理者の設定により、2段階認証が必要な場合があります。
(詳細は「[6.1.2 段階認証 \(OTP\) を使用する](#)」を参照)

正常にログインされない場合は、誤字や大/小文字を確認後、再度入力してください。



4.1.1 アプリケーション画面説明



番号	アイコン	説明
①		アプリケーション管理ページに移動します。 詳細は「6.2. アプリケーションを管理する」を参照
②		画面を最新情報に更新します。
③		グループ名やデバイス名（遠隔地PC名）で検索します。
④		遠隔地PCのグループが表示されます。 アイコン右に表示されている数字：例 (1/2)は、遠隔制御が可能な状態のPC台数と、グループに登録されているPC台数を表します。
		グループに属している遠隔地PCを表示します。
⑤		遠隔接続中の状態です。
		遠隔接続可能 Agentがログインされている状態です。
		遠隔接続不可 遠隔地PCの電源がOFFかAgentがログアウト状態です
		遠隔地PCに対する機能を表示します。

4.2 遠隔地PCに接続する

遠隔地PCのAgentがログインされている状態の場合、手元のモバイル端末から遠隔地PCを手元で操作しているかのように直接制御することができます。

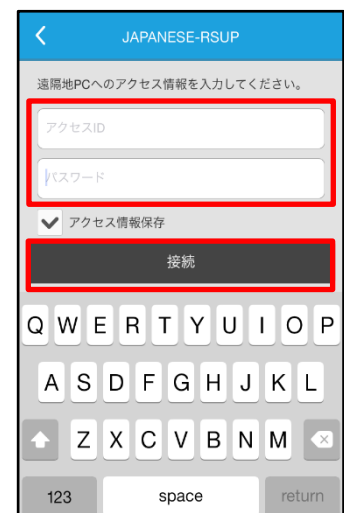
遠隔地PCに接続すると、手元のモバイル端末画面上に遠隔地PCの画面が表示され、あらゆる機能を利用して、遠隔地PCを遠隔操作することができます。

- ⑨ AgentがON状態の遠隔地PCアイコンをタップするか、操作メニューの下段にある「遠隔操作」をタップします。



- ⑩ タップすると、Agentログイン画面が表示されます。
ログインアカウントを入力後、「接続」をタップすると、遠隔地PCに接続されます。

- 管理者の設定により、2段階認証(OTP)による接続 / Windowsアカウントによる接続が必要な場合があります。



※ 注意 ※

3G/LTEをご利用する場合、パケット料金がかかりますのでご注意ください。

4.3 遠隔地PCを制御する

遠隔地PCに接続されると、遠隔地PCの現在の画面が表示されます。

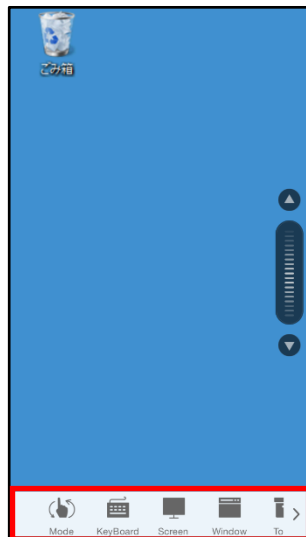
※設定によりQuickMenuが接続直後に表示されます。

4.3.1 ツールバーメニュー

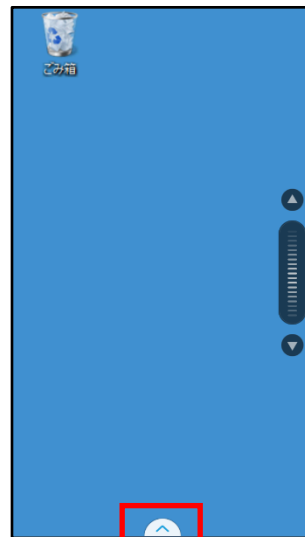
指で画面をタップし、マウスで遠隔地PCを操作するように簡単に操作することができます。

また、遠隔操作に有用な機能が下段ツールバーに表示されます。

画面をタップするとツールバーを非表示に、をタップするとツールバーメニューが表示されます。



ツールバー表示の場合



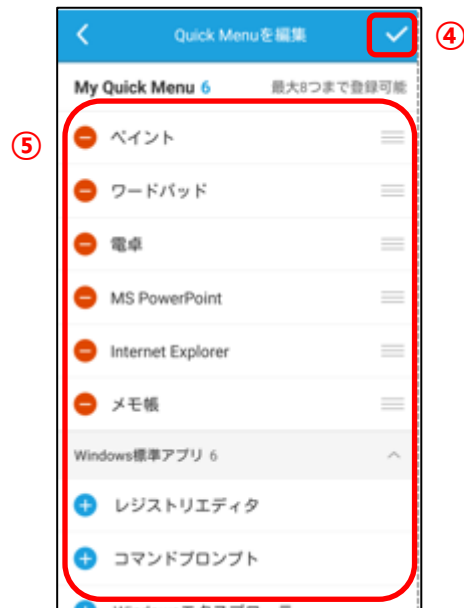
ツールバー非表示の場合

4.3.2 QuickMenu

接続後、設定によりQuickMenuが表示されます。

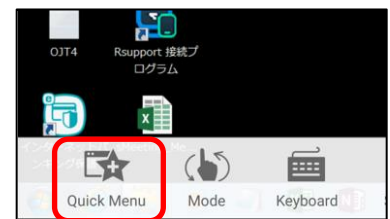


QuickMenu表示



QuickMenu設定

名称	説明
① 設定アイコン	QuickMenu設定画面に遷移します。
② QuickMenu	選択メニュー表示部。 選択したアプリが8個未満の場合「+」が表示され、設定画面へ遷移できます。
③ 常時表示の変更	チェックを外すと、接続後表示されなくなります。
④ 保存アイコン	設定を確定します。
⑤ 選択アプリ状況	<ul style="list-style-type: none"> ⊖ : 選択したアプリ。⊖をタップし、リストから解除します。 ⊕ : 未選択アプリ。⊕をタップし、リストに登録します。 ☰ : QuickMenuに表示されるアプリの順番を変更することができます。
⑥ QuickMenu表示	QuickMenuを表示するツールバーメニュー



● 選択可能なアプリ一覧



1	ペイント	11	スクリーンキーボード
2	ワードパッド	12	MS Word
3	電卓	13	MS Excel
4	メモ帳	14	MS PowerPoint
5	レジストリエディタ	15	MS Outlook
6	Internet Explorer	16	コントロールパネル
7	コマンドプロンプト	17	プログラムの追加/削除
8	Windowsエクスプローラ	18	Chrome
9	タスクマネージャー	19	Firefox
10	リモートデスクトップ接続		

※6.0.900xバージョンのアプリからはRemoteViewのWebで設定したカスタマイズアプリも選択することができます。






4.3.3 マウス制御モードを切り替える

遠隔地PCのマウスを制御する方法には、「タップモード」と「仮想マウスモード」の2通りがあります。接続時は「タップモード」になっています。

ツールバーにあるモードアイコン  をタップすると、マウス制御モードが切り替わります。

モード	説明
タップモード (デフォルト)	モバイル端末画面上にカーソルが表示されず、画面をタップすると  アイコンが1秒間表示されます。 ※モバイル端末を使うように制御したい人向け
仮想マウスモード	マウスカーソル  が表示され、細かい部分の作業が簡単になります。 ※PCを操作するように制御したい人向け

● マウス制御モードによる操作方法一覧


PCでの動作	タップモード	仮想マウスモード
カーソル	なし (タップ時  アイコン表示)	
マウス 左クリック	指1本で画面タップ	仮想マウス以外の画面領域を指1本でタップ
マウス 右クリック	1) 指1本で約2秒間 画面タップ 2) 指2本で画面タップ	1) 仮想マウスアイコン内を指1本でタップ (タップ時、アイコン色が変化)  2) 仮想マウス以外の画面領域を指1本で 長くタップ (アイコン色が青色に変わるまで)  3) 仮想マウス以外の画面領域を指2本で画面タ ップ
ダブルクリック	指1本で画面を素早く2回タップ	
画面拡大/縮小	指2本で画面を拡大/縮小	
画面移動	指1本で画面ドラッグ	カーソルを画面の端に移動するときに、 その方向に自動スクロール
マウスドラッグ	画面を約0.5秒間タップし、 ドラッグ	仮想マウス以外の画面領域をタップし、 カーソル色が青色に変わったらドラッグ 
ウィンドウ スクロール	1) スクロールホイールを利用し、上下調節 2) 指2本で画面タップ後、上下にドラッグ	
Windows8 メニュー	1) メトロUI/デスクトップモード切替：下のツールバーニューから上へドラッグ 2) Windows8右側ツールバー：右から左にドラッグ	
モニター切替	指3本で画面タップ後、左右にドラッグ	


4.3.4 キーボードを使用して文字を入力する

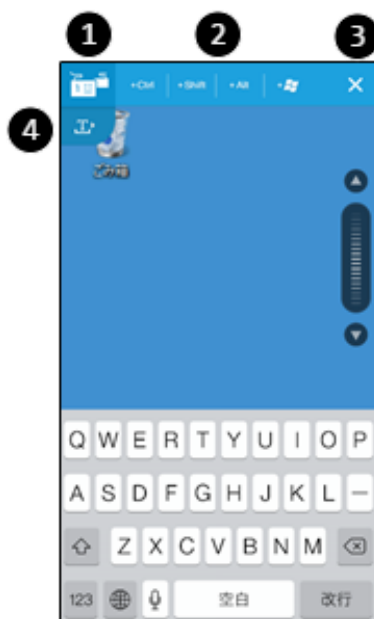
遠隔地PCのキーボードを制御し、文字を入力することができます。

遠隔地PCにある文書やメモを作成する時など、文字入力が必要な場合に使用します。

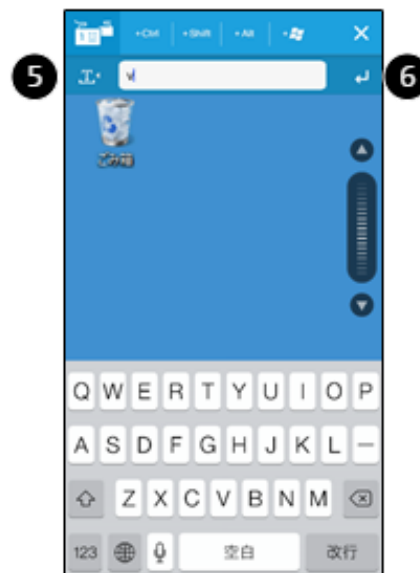
遠隔地PCのキーボードを制御する方法には、「直接入力モード」と「間接入力モード」の2通りがあります。接続時は「直接入力モード」になっています。

ツールバーにあるキーボードアイコン  をタップすると、キーボードが表示されます。

モード	説明
直接入力モード (デフォルト)	入力した内容がすぐにPCに転送されます。
間接入力モード	入力した内容が上段の編集ウィンドウに表示され、右側の入力ボタン  をタップすると入力した内容がPCに転送されます。






直接入力モード



間接入力モード

番号	アイコン	説明
①		特殊キーボードを表示します。再度タップすると、一般キーボードが表示されます。
②		WindowsのHot-keyを他のキーとの組合せで使用できます。
③		キーボードモードを終了します。
④		入力モードが直接入力モードから間接入力モードに切り替わります。
⑤		入力モードが間接入力モードから直接入力モードに切り替わります。
⑥		間接入力モードで入力した内容がPCに転送されます。

AgentがMacの場合、上段のボタン中、Altキーボタン  がOptionキーボタン  と表示され、Windowsキーボタン  はCommandキーボタン  と表示されます。


特殊キーボードは  キーの代わりに  キーが、 キーの代わりに  キーが表示されます。

※標準キーボード以外をご利用の場合は、キー入力が正常に反映されない場合があります。


4.3.5 画面制御の設定をする

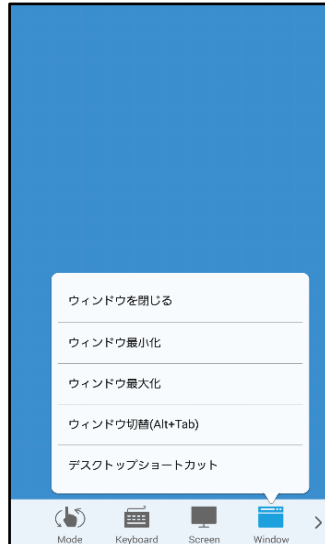
ツールバーにある  アイコンをタップすると、画面制御に関する設定を行うことができます。



メニュー名	説明
モニター切替	遠隔地PCのモニターが2台以上の場合に表示されます。タップすると順番に次のモニターに変更されます。
画面固定	有効にするとビューアに表示される画面が固定され、画面を移動しなくなります。(ON時: )
画面自動回転	モバイル端末の回転にしたがって遠隔地PC画面の回転可否を変更することができます。(OFF時: ) ※iOS6.0以降のモバイル端末では使用できません。
遠隔画面ロック	遠隔地PCのモニター画面がロック処理されます。 ※遠隔地PCのOSがMacの場合には使用できません。
遠隔画面キャプチャー	遠隔地PC画面をキャプチャーし、モバイル端末内に保存します。
端末画面に合わせる	遠隔地PCの画面全体を端末画面に合わせて表示します。
初期画面に合わせる	遠隔制御接続時の初期画面サイズで表示します。

4.3.6 ウィンドウを制御する

ツールバーにある  アイコンをタップすると、遠隔地PCのウィンドウ制御に関する設定を行うことができます。



メニュー名	説明
ウィンドウを閉じる	遠隔地PCで実行中のプログラムウィンドウが終了されます。
ウィンドウ最小化	遠隔地PCで実行中のプログラムウィンドウが最小化されます。
ウィンドウ最大化	遠隔地PCで実行中のプログラムウィンドウが最大化されます。
ウィンドウ切替	遠隔地PCで実行中のプログラムウィンドウが順番に切り替わり、選択することができます。
デスクトップショートカット	遠隔地PCで実行中のすべてのプログラムウィンドウが最小化され、デスクトップ画面が表示されます。

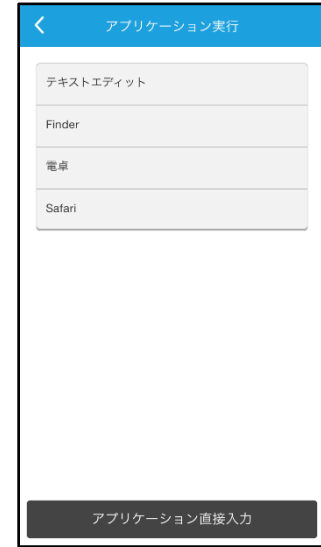
4.3.7 各種制御ツールを使用する



ツールバーにある アイコンをタップすると、遠隔制御に便利なメニューが表示されます。



アプリケーション実行 (Windows)

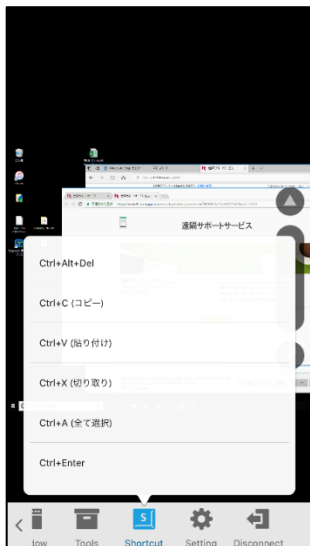


アプリケーション実行 (Mac)

メニュー名	説明
接続情報(セッション情報)	遠隔地PCとのネットワーク接続情報を確認することができます。
プロセス情報	遠隔地PCで実行中のプロセス確認、終了することができます。※遠隔地PCのOSがMacの場合は使用できません。
システム情報	遠隔地PCのシステム情報を確認することができます。 ※遠隔地PCのOSがMacの場合は使用できません。
アプリケーション実行 (上イメージ参照)	頻繁に使用するアプリを簡単に実行することができます。 リストに無いアプリは「アプリケーション直接入力」をタップし、希望のアプリ名を入力後、実行することができます。
ログオフ	遠隔地PCのシステムをログオフします。
再起動	遠隔地PCのシステムを再起動します。
システム終了	遠隔地PCのシステムを終了します。

4.3.8 ショートカットキーを使用する Shortcut

ツールバーにある Shortcut アイコンをタップすると、遠隔地PCで使用できるショートカットキーが表示されます。



Windowsの場合




Macの場合

Windows	Mac
Ctrl+Alt+Del(タスクマネージャ)	Alt+Cmd+ESC(タスクマネージャ)
Ctrl+C (コピー)	Cmd+C (コピー)
Ctrl+V (貼り付け)	Cmd+V (ペースト)
Ctrl+X (切り取り)	Cmd+X (カット)
Ctrl+A (全て選択)	Cmd+A (すべての項目を選択)
Ctrl+Enter	
Alt+F4 (プログラムの終了)	Cmd+Q (終了コマンド)
Win+D (デスクトップ)	F11 (デスクトップ)
Win+L (システムロック)	-
Win+E (エクスプローラー)	-
Win+R (実行ウィンドウ)	Ctrl+Space(検索)

※Win+LのショートカットキーはWindows8以上の環境では動作しません。

4.3.9 遠隔制御に関する設定を行う Setting

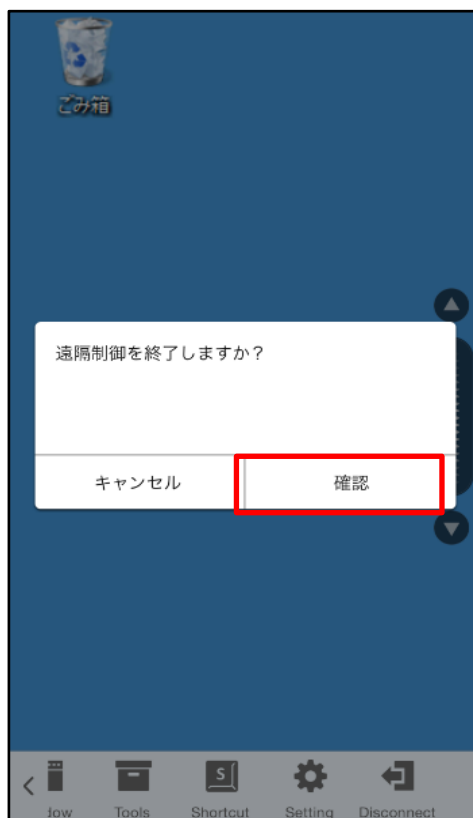
ツールバーにある  アイコンをタップすると、遠隔制御の設定、サウンド共有、操作方法ガイド表示などを実行することができます。



メニュー名	説明
制御品質の設定	遠隔制御画面の品質を選択することができます。 (速度優先/グラフィック優先)
画面の色設定	画面に表示されるカラーを変更することができます。カラーが低いほど制御速度は速くなります。(白黒/256カラー/ハイカラー16bit)
遠隔解像度設定	遠隔地PCの解像度を変更することができます。解像度変更後、遠隔制御が終了すると元の解像度設定に変更されます。
サウンド共有	設定を有効にすると、遠隔地PCのサウンドを聞くことができます。 ※遠隔地PCのサウンドカードによっては、サウンド共有機能に対応していない場合があります。
スクロールホイールボタン	画面上に表示されるスクロールボタンを表示/非表示にします。
操作方法を見る	タップモード/仮想マウスモードの操作方法が表示されます。設定を解除すると遠隔制御開始時に操作方法ガイドが表示されません。

4.4 遠隔制御を終了する

ツールバーメニューにある  アイコンをタップすると、遠隔制御接続が終了されます。



5. 遠隔地PCをコマンドで制御する

遠隔地PCを直接制御せずに、メニューをタップするだけで簡単に遠隔地PCを制御することができます。

(遠隔地PC画面の直接制御に関する詳細は「[4.2. 遠隔地PCに接続する](#)」を参照)



AgentがONの場合



AgentがOFFの場合

番号	メニュー名	Agent状態	説明
①	接続確認(更新)	ON/OFF	遠隔地PCの電源やAgentのログイン状態を更新します。
②	vPro電源管理	ON/OFF	遠隔地PCの電源管理を行います。 ※遠隔地PCがIntel vPro機能対応時のみ表示されます。 (詳細は「 5.1. vPro機能を使って電源管理する 」を参照)
③	遠隔画面 キャプチャー	ON	遠隔地PC画面をキャプチャーし、モバイル端末内に保存します。
④	登録情報	ON/OFF	遠隔地PC情報や最終制御日などを確認します。
⑤	ログオフ	ON	遠隔地PCのシステムをログオフします。
⑥	システムの終了	ON	遠隔地PCのシステムを終了します。
⑦	再起動	ON	遠隔地PCのシステムを再起動します。
⑧	Agent削除	ON	遠隔地PCのAgentプログラムを削除します。 削除すると、遠隔制御できなくなります。
⑨	遠隔操作	ON	手元のモバイル端末から遠隔地PCを手元で操作しているかのように遠隔制御することができます。 (詳細は「 4.2. 遠隔地PCに接続する 」を参照)
⑩	電源起動(WOL)	OFF	電源起動ハードウェア製品であるRemoteWOLを利用し、遠隔地PCの電源を起動します。

5.1 vPro機能を使って電源管理する

遠隔地PCを電源管理することができます。

vPro機能が使用できる遠隔地PCの場合、右のようにPCアイコン横に「vPro」と表示されます。（遠隔地PCがIntel vPro機能対応時のみ表示）



⑪ 遠隔地PCアイコンを選択後、「vPro電源管理」メニューをタップすると、遠隔地PCの電源管理画面が表示されます。



⑫ vProデバイスのアクセス情報を入力後、「電源シャットダウン/電源起動」「再起動」機能を使用することができます。（遠隔地PCのAgentがONの場合とOFFの場合で表示される項目が異なります。）

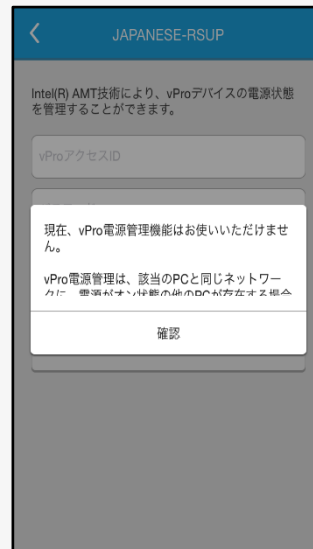
- vProアクセスID : Intel ME IDを入力します。
- パスワード : Intel ME パスワードを入力します。
- コマンド転送経由PC : vPro PCにアクセス可能なAgent PCを選択します。
- 電源管理 : 電源管理オプションを選択します。

(電源シャットダウン/電源起動、再起動)





経由する他のAgent PCが無い場合は、vPro電源管理機能を使用することができません。案内にしたがって経由するAgent PCの状態を確認してください。



- vPro機能を使用するためには、制御する遠隔地PCにIntel vPro対応のチップセットが装着されている必要があります。
- モバイル端末でvPro PCへの直接操作ができないため、vPro PCと同じネットワーク上にあり、vPro PCにアクセスできるAgent PCの準備が必要です。
- 遠隔地PCにvProチップセットが装着済みでも、vPro機能サービスのライセンス契約がされていない場合は、vProメニューが表示されず、機能も提供されないため使用できません。

6. その他

6.1 2段階認証（OTP）を使用する

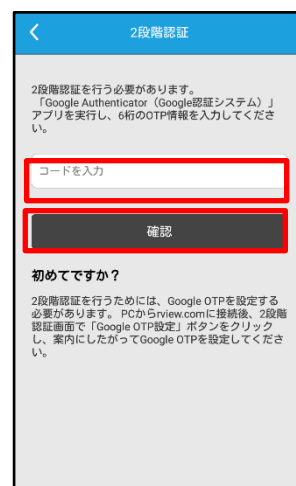
よりRemoteViewを安全にお使いいただくため、RemoteViewログイン時にOTP（One Time Password）を使用することができます。

※本機能は、RemoteView Enterpriseをご利用の方で、管理者によって機能が有効にされている方のみ使用可能です。（詳細については、別冊のEnterpriseマニュアルを参照）

- ⑬ アカウント情報を入力し、RemoteViewにログインします。
（1段階認証）



- ⑭ 2段階認証を求めるウィンドウが表示されます。Google認証システムアプリを開き、6桁のOTP情報を入力します。




⑮ ログイン後、パソコンリストが表示されます。



6.2 アプリケーションを管理する

ログイン画面の左上にある...アイコンをタップすると、「RemoteViewアプリ管理」ページが表示され、基本情報を確認したり、アプリケーションの設定を変更することができます。



メニュー名	説明	
基本情報	バージョン	ご利用中のRemoteViewバージョン情報を確認します。
	ライセンス情報	オープンソースのライセンス情報画面が表示されます。
	MACアドレス	モバイル端末のMACアドレス情報を確認します。  アイコンをタップするとMACアドレス情報がコピーされます。
	チュートリアル	チュートリアル画面が表示されます。
	お知らせ	RemoteViewサービスのお知らせ画面が表示されます
	FAQ	RemoteViewに関するよくある質問が表示されます。
設定	言語	表示言語を変更します。 対応言語：日本語・英語・韓国語・中国語(簡体、繁体) モバイル端末の設定から言語環境を変更すると、RemoteViewアプリの言語も変更されます。 詳細は「 6.2.1.端末から言語を変更する 」を参照
	ご利用製品	RemoteViewでご利用中の製品が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> Standard/Enterprise製品：RemoteView ASPサービス Server 製品：別途サーバを利用したサービス向け 「接続URL」の別途入力が可能です。
	プロキシ使用	プロキシサーバを利用する場合、プロキシ使用を有効にし、サーバアドレス、ポートを入力します。認証が必要な場合はユーザID、パスワードを追加入力します。 詳細は「 6.2.2.プロキシを設定する 」を参照
その他	友達におすすめ	RemoteViewを簡単に知らせることができるメールを送信することができます。 メールを受信した側は、製品ページリンクからRemoteViewについて詳しい情報を確認することができます。
	お問い合わせ	製品に関する疑問点などをRSUPPORTに送信することができます。

6.2.1 端末から言語を変更する

RemoteViewは、日本語だけでなく英語、韓国語、中国語(簡体、繁体)に対応しています。端末の設定から言語環境を変更すると、RemoteViewアプリの言語も変更されます。

設定 > 一般 > 言語環境 > 言語から言語を選択後、「完了」をタップします。




6.2.2 プロキシを設定する

プロキシサーバを使用する場合、HTTPプロキシ項目を確認後、「RemoteViewアプリ管理」ページで入力する必要があります。

① 端末の設定から、設定 > Wi-Fi > ⓘアイコンをタップし、HTTPプロキシ情報を確認します。



※「自動」でのProxy設定時のURLはプロキシスクリプトファイルのフルリンク先を入力する必要があります。

- ② ログイン画面の左上にある  アイコンをタップし、「RemoteViewアプリ管理」ページの「プロキシ情報」に先ほど確認したプロキシ情報を入力します。



Help Desk

1次連絡先

このマニュアルの中でご不明な点や、上記のサイトに収録されていない質問については、ご購入先までご連絡ください。

2次緊急連絡先 - RSUPPORT株式会社

営業時間：平日10:00～17:00(土日祝日除く)

テクニカルサポート：03-6273-3872

お問い合わせ：support.jp@rsupport.com